会議議事録

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名 | 令和4年度職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進事業  （３）職業実践専門課程等の充実に向けた取組の推進①社会的評価の一層の向上のための共通的基盤整備の推進 |
| 代表校 | 一般社団法人全国専門学校教育研究会 |

|  |  |
| --- | --- |
| 会議名 | 第5回共通基盤整備事業実施委員会 |
| 開催日時 | 令和5年2月20日（月）　13時00分～15時00分 |
| 場所 | ＡＰ品川アネックス |
| 出席者 | 委　　員：五十部　昌克、岡村　慎一、山根　大助、谷　昌一、  増子　卓矢（OL）、松田　義弘（OL）、川越　浩（OL）  　　　　　計8名  請負業者：八木　信行、飯塚　正成　　　　　　　 　計2名  　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　合計10名 |
| 議題等 | ◯第三者評価簡略化版検証結果報告（五十部）  ・第三者評価報告資料として、評価シート説明やアンケート内容について説明。  ・利用しやすさ、審査手順、自己点検や第三者評価簡略化版の理解度等について説明。  ・第三者評価への積極的な取り組みについては、今すぐに着手は難しいが、準備をして第三者評価に備えたいといった回答の学校が多く見受けられた。  ・審査員に対するアンケートとして、書類審査、リモート審査、現地審査について、それぞれの有効性などについてアンケートをとり、概ね有効性を感じると回答していただいたことが確認された。詳細に関しては、Slackを確認していただきたい。（八木）  ◯成果物の確認  成果物は以下の通り。   1. 第三者評価認証簡略化モデル完成版 2. 組織運営ガイドライン 3. 内部質保証人材育成プログラム 4. 各種検証結果の報告   ・それぞれの成果物の原稿は、2月24日に頂戴できるとありがたい。（飯塚）  ・成果物は簡略化モデルの完成版、組織運営ガイドライン、内部質保証人材育成プログラムとします。（五十部）  ・成果報告は、セミナーの実施要項、自己点検のアンケート、内部質保証人材育成研修、第三者評価簡略化モデル関係のアンケートを掲載する。（五十部）  ・成果物に関しては、アンケート結果を反映させた最終のモデルとする。（五十部）  ・第三者評価の受審校については、自己点検評価セミナーを受講し学校と接続して、選定した旨を報告書に入れる。（山根）  ・内部質保証人材育成プログラムに関しては、TCE財団が行っている類似の研修をもと作っている。今回の取り組みの中では自己点検評価の強化を図る側面がある。こうしたことから自己点検評価の強化という意味で再度書き換えていきたいですね。ボリュームとしては50〜60ページ程度が妥当ですね。（八木）  ・内部質保証人材育成プログラムは、実施後のアンケート結果と矛盾が生じませんか？（谷）  ・アンケートの結果から、自己点検評価の強化が必要と判断し付け加えていくことにしました。（五十部）  ・今後の展望についていかがでしょうか？（五十部）  ・専門学校のとるべき道として正しいと感じています。（松田）  ・この内容で良いと思います。（川越）  ・前回、岡村先生のお話を伺いその内容で良いと思います。エリア内で学習できる仕組みづくりは重要と考えます。（増子）  ・第三者評価を普及させていく観点からは、メリット等をさらに明確に必要があるのではないかと感じています。また、紙ベースの書類からデータによる書類提出に変更することなどは重要ではないでしょうか？（谷）  ・第三者評価をやると実際に質が向上したということがあると取り組みやすくなりますね。（五十部）  ・今後の展望ですが、第三者簡略化モデル関連のアンケートの際にこのモデルをさらに普及していくこととしていました。この内容については強化を図ると良いと思います。地域内での相互評価は実現できたら助かります。（山根）  ・今後の展望は、もう少し検討が必要だと考えています。ただ、課題としては共通の認識が得られたと感じています。また、もう少し自己点検評価の強化をすることについては同じ考えを私も持っています。あとは、実行段階をどのように設計するかです。これに加えて、人づくりも重要だと思っています。（岡村）  ・旅費や謝金などについてのエビデンス等については、速やかに資料提出をお願いします。（飯塚） |
| 配布資料 | ・第5回実施委員会資料  ・第三者評価受審結果報告 |

以上